

平成 26 年 1 月 28 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

当行連結子会社、新生企業投資がバイオ企業のリプロセルと Cell Innovation Partners, L.P.を設立 ～国内および海外の iPS 細胞・再生医療関連のバイオベンチャーなどに投資する総額 10 億円のファンド～

当行連結子会社の新生企業投資株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 松原一平、以下、「新生企業投資」)は、iPS 細胞関連のバイオ企業、株式会社リプロセル(神奈川県横浜市、代表取締役社長 横山周史、以下、「リプロセル」)と共同で、国内および海外の iPS 細胞・再生医療関連のバイオベンチャーなどへの投資を行う「Cell Innovation Partners, L.P.」(以下、「本ファンド」)を平成 26 年 3 月を目処に設立いたします。

リプロセルは 100%子会社、RC パートナース株式会社(代表取締役 横山周史、以下、「RC パートナース」)を平成 26 年 2 月に設立し、RC パートナースと新生企業投資が共同で出資するケイマン諸島籍の子会社が GP(無限責任組合員)として本ファンドの運営・管理を行います。本ファンドに対しては、当行およびリプロセルが LP 出資(有限責任組合員としての出資、各社 3.5 億円)を行うほか、平成 26 年 9 月までに追加の LP 出資者を募ります。本ファンドのファンド規模は 10 億円で、1 社あたり平均 1 億円程度の投資を想定しています。

リプロセルは、平成 25 年 6 月に大阪証券取引所 JASDAQ 市場に上場(同年 7 月に東京証券取引所と統合)した iPS 細胞関連のバイオ企業です。ヒト iPS 細胞から作製した心筋、神経などの細胞製品および iPS 細胞関連の培養試薬製品の製造販売を行っています。今後、海外展開を加速し、また、再生医療などの新規技術の開発にも積極的に取り組むことを目的とし、本ファンドを通じた投資により、自社製品の販路拡大や共同開発のパートナーとなり得る企業との関係を強化していく方針です。新生銀行はリプロセルの上場前に Pre-IPO 投資を行い、株主として同社を支援してきましたが、上場後も本ファンドを共同で設立し、リスクマネーとコーポレートベンチャーキャピタルのノウハウを提供することによって、リプロセルの事業拡大・海外展開を支援してまいります。

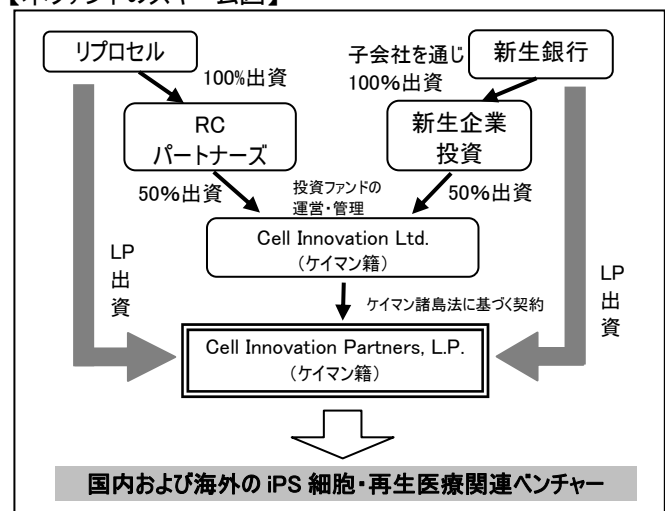
新生企業投資では、Pre-IPO 投資としてミドル・レイターステージのベンチャー企業に成長資金の提供を行うとともに、外部パートナーとの共同ファンド設立を積極的に行っています。本ファンドは、モバイルゲーム開発ベンチャーの株式会社 gumi と設立した gumi Ventures, L.P.、磯崎哲也氏と設立したフェムトグロースキャピタル投資事業有限責任組合に続く共同ファンドとなります。

iPS 細胞・再生医療関連分野は、平成 24 年の山中伸弥京都大学教授のノーベル賞受賞を追い風として日本発の新しい医療分野に成長することが期待されています。同分野は、当行の第二次中期経営計画にて定める医療・ヘルスケアなどの重点分野であり、当行では、新生銀行グループとしてリスクマネーの提供などを通じて、新しい産業分野の創造に貢献してまいります。

【本ファンドの概要】

名 称 : Cell Innovation Partners, L.P.
 所 在 国 : ケイマン諸島
 設 立 : 平成 26 年 3 月 予定
 ファンド規模 : 10 億円
 出 資 者 : 株式会社リプロセル
 株式会社新生銀行 ほか
 期 間 : ファンド期間 7 年
 投 資 対 象 : 国内および海外の細胞・再生医療
 関連ベンチャー

【本ファンドのスキーム図】



以 上